

京都から行ける



6 賤ヶ岳

賤ヶ岳(標高421m)は長浜市の琵琶湖北端に位置する。山頂から琵琶湖と余呉湖のどかなたすまいを眺めることができ、余呉湖畔からは山容を望める

写真①

1949(昭和24)年に「新雪―賤ヶ岳の大観」ほか7件で「琵琶湖八景」が

景指定され、翌年に日本最初の国立公園に制定された。それだけに、眺望の素晴らしさはこの山を登る者だけが満喫できる。また、この地は1583(天正11)年4月、羽柴秀吉が賤ヶ岳の戦いで勝利し、天下人となる第一歩の場だった。賤ヶ岳への登山道は幾つかの遺構があり、歴史を感じながら歩くのも楽しみみの一つである。

今回は江土登山口からのコースを紹介する。電車ならJR北陸線余呉駅から、マイカーなら余呉湖観光館に駐車し、駅から南へ150mほど県道を左折し300mほど歩くと賤ヶ岳登山口の看板が見えてくる



賤ヶ岳の登山コース

琵琶湖眼下 圧巻の眺望

② 登山口から小さなお堂を過ぎ植林の中を進んでいくと、右手から岩崎山登山口の道と出合う。そのまま緩やかな尾根道を登っていく。

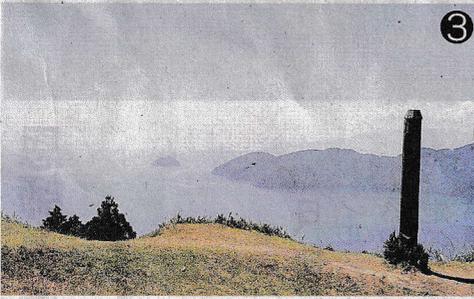
の看板がある。そこを過ぎたあたりから植林帯は広葉樹の木々が増え、大きく枝を上げた大木を目にするようになってくる。

絶景を堪能したら下山は、既に閉館した国民宿舎余呉湖荘方面へと下る。15分で飯浦分岐の標識がある峠に着き、ここを右へ余呉湖方面に足を向ける。

途中で林道と合流し100mほど進むと、再び登山道に戻つてすぐに中川清秀の墓にたどり着く。清秀は、秀吉方として参戦していたが、敵方の奇襲で全滅したとある。そのすぐ先にも「首洗いの池」の標識がある。50mほど脇道を下ると当時の地元民が遺体を葉で覆い隠し、首を洗ったとされる湧水の出る小さな池がある。

山頂からの眺めは圧巻といつてもよい素晴らしさだ。西を向けば琵琶湖と余呉湖が眼下に。思わず声が出てしまうくらい絶景である。

谷あいの道を15分ほど歩くと視界が開け、山頂から見えていた余呉湖畔に出る。左に湖を見て40分ほどで棧橋のある港が見えると間もなくゴールである。スタート地点の余呉駅まで数分で戻れる。歩行距離約9km、3時間、歩行時間約3時間半。(日本山岳会京都・滋賀支部 土井文雄) 次回10月13日掲載予定です。



アクセス 電車利用の場合はJR北陸線余呉駅下車。駅を出て県道33号を左折、徒歩10分。マイカー利用の場合は北陸道木之本IC下車、

国道365号を直進、余呉湖口交差点を左折、県道33号を進み、導水路沿いに左折して余呉湖観光館駐車場へ。登山口までは徒歩10分。